

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 不知火塗装

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用する人材を幅広い年齢層から採用し、年齢・性別による不採用を行わないようにしている。外国人労働者の採用を考慮しており、それに伴い差別等がないよう会社内で教育している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5						8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		現場・作業ごとに現場代理人・作業主任者を選出し、各業務の安全管理に関する免許の取得・特別教育を行っている。 安全管理に関するセミナー等に積極的に参加している。			3								8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		取締役・役員等が賞金に関するセミナー・講習会に積極的に参加し最新の規定で従業員に不利益が出ないように努めている。					5.5						8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		建設業界全体の労働時間の長さ・残業多さを深刻にとらえ、週休2日制の現場・No残業を進めている。 定期的に従業員にヒアリング調査を行い働きやすい職場を目指している。			3		5.5						8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		従業員のスキルアップのため講習会への参加・免許取得を積極的に推進している。 【予定】令和5年4月までに建設業キャリアアップシステム制度への登録を整備する。				4	5.5						8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		特殊健康診断を実施し、作業主任者を選定することにより安全な業務を行っている。 また全国健康保険協会に加入しているので健康診断の費用を負担している。 予防接種の補助の取り組みとして会社での呼びかけや予防接種の重要性について社内会議等の場を設けている。			3								8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		従業員を雇用する際に年齢や性別で採用を決めず、多様な人材の適材適所での活躍できる業務の整備を進めている。 従業員アンケートなどを実施し誰もが働きやすい職場づくりを目指している。				4.4	5.1 5.5						8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		施主様・取引業者との打ち合わせ等をZoom等を活用し遠隔で行えるよう取り組んでいる。 感染症対策の最新の情報を得られるよう講習会等に参加している。			3								8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		現場管理の遠隔化を図り、現場カメラ・ウェブ会議等を活用している。 【予定】令和5年4月までに建設業キャリアアップシステムを導入し、従業員の管理の効率化を目指す。											8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●					3	4							8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社 不知火塗装

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		業務上、多様な種類の産業廃棄物が発生するため各廃棄物の適切な処理の仕方を理解し処理業者での処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		社用車のEV車への移行に取り組んでいる。 業務で使用する最新の機械の情報を仕入れ、低燃費化・コストダウンに取り組んでいる。熊本県ホームページ掲載の簡易計算シートを使い自社エネルギー使用量を把握している。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		社用車のEV車・クリーンディーゼル車への移行に取り組んでいる。簡易計算シートを用いて自社のガス排出量の把握をしている。 施主様に遮熱塗料をすすめることによりエアコンの使用頻度を落とす取り組みをしている。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		再利用可能な資材を使用することにより産業廃棄物の削減に取り組んでいる。 自社活動として自然に関するボランティア活動等に積極的に参加している。					6.6									14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		再利用可能な資材を使用することにより産業廃棄物の削減に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		事業所内・各現場で節水を心掛けている。 各現場に水道メーターを設置することにより水の使用量を正確に把握している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5				14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		施主様への遮熱塗料をすすめることでエアコン使用頻度を下げることに取り組んでいる。 資材・材料などリサイクル製品の使用を積極的に行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4								12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15				17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13			15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5			14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			社用車のEV車・クリーンディーゼル車への移行に取り組んでいる。									9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2		

